

令和7（2025）年度

中央区予算案プレス発表

中央区の魅力を発掘・発信！

—愛着をもって住み続けられるまちを目指して—



魅力の発掘・発信とにぎわいの向上・創出

区の魅力の発掘・発信

充 シティプロモーションの推進

➤ 区の歴史アーカイブ・発信事業

デジタルアーカイブシステム、公開サイトを構築するほか、区制施行80周年記念映像を制作

➤ Instagramによる魅力発信

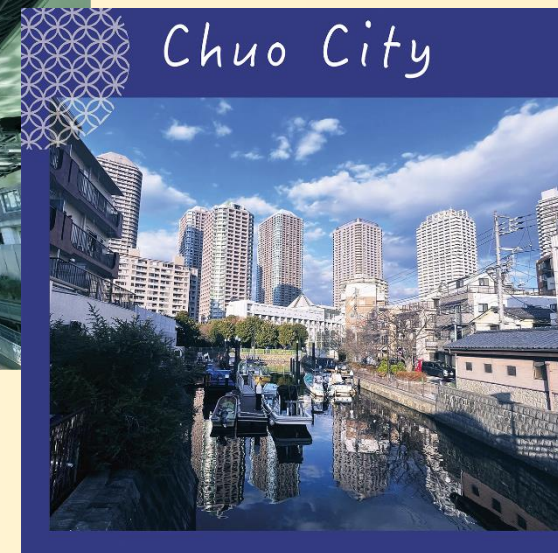
本区の魅力が伝わる写真の投稿やハッシュタグキャンペーンを実施

➤ 地域の魅力発掘・発信支援事業【充】

町会等が行う地域にゆかりのある人物や旧跡等の歴史文化資源の魅力を発掘・発信する事業に対する補助を実施

➤ 広報力向上事業【充】

「伝わる」広報の実践に向けて、専門知識を有する副業人材を活用し、職員向けの研修およびモデル部署の伴走支援を実施



➤ ふるさと中央区応援寄附

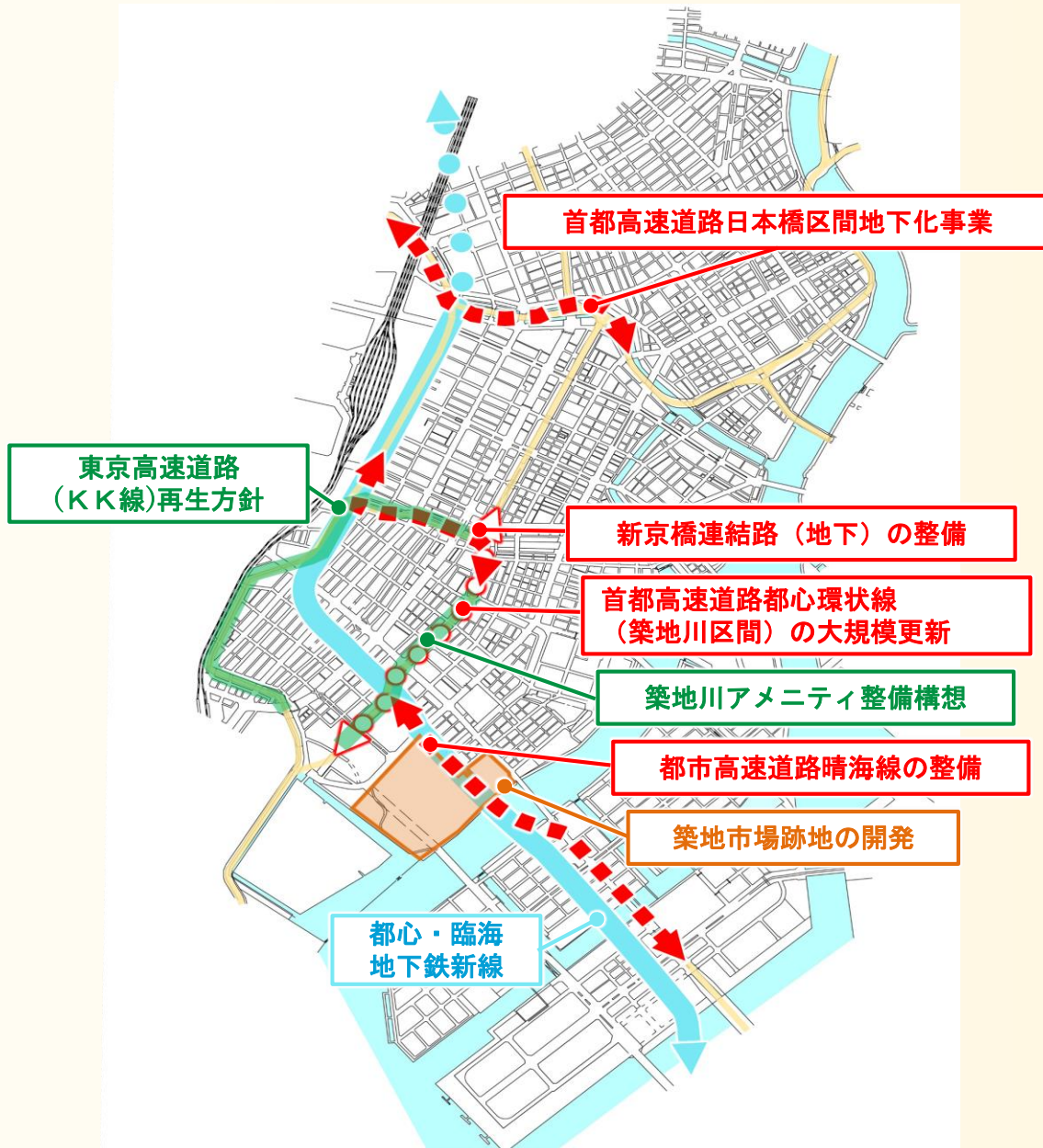
本区の魅力発信および活気やにぎわいのさらなる創出に向けた返礼品を提供

➤ 大河ドラマを契機とした魅力発信【新】

本区が舞台となる大河ドラマの主人公「蔦屋重三郎」にちなんだ事業を展開

良好な都市基盤整備

魅力の発掘・発信とにぎわいの向上・創出



高速道路ネットワークの整備

- ・ 首都高速道路日本橋区間地下化事業
- ・ 新京橋連結路(地下)の整備
- ・ 首都高速道路都心環状線(築地川区間)の大規模更新
- ・ 都市高速道路晴海線の整備

東京高速道路(K K線)再生方針

- ・ 東京の新たな価値や魅力を創出するため、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用

築地川アメニティ整備構想

- ・ 首都高速道路都心環状線(築地川区間)の上部空間を活用し、銀座と築地をつなぐ新たなアメニティ空間の創出

鉄道ネットワークの整備

- ・ 都心部(銀座・東京駅)と臨海部(晴海・有明方面)をつなぐ都心・臨海地下鉄新線の整備

築地市場跡地の開発における都市基盤整備

- ・ 舟運、バス、地下鉄などのインフラから成る広域交通結節点を戦略的に形成
- ・ スーパー堤防や防潮堤の活用等により、水辺沿いの歩いて楽しい歩行者ネットワークを形成

地域活性化イベント

新 東京湾大華火祭再開に向けた調査

「東京湾大華火祭」の再開に向けた詳細な調査を実施



東京湾大華火祭（平成27年度）

充 晴海まつり

さらなるコミュニティの醸成を図るため、地域団体等と連携し、さまざまな世代が楽しめるイベントを月島地域で実施

- ・時 期 令和7年11月
- ・会 場 晴海地域交流センター「はるみらい」など



晴海まつり（令和6年度）

地域経済の活性化

充 区内共通買物・食事券の発行

長期化する物価高騰の影響を踏まえ、発行総額を拡大

・発行総額 令和6年度 26億円 → 令和7年度 30億円

充 中小企業への支援

➤商工業融資【充】

- ・事業承継資金の創設
- ・融資限度額の増額
- ・創造支援資金の負担軽減
- ・設備資金の差額利用
- ・新型コロナウイルス感染症対策緊急特別資金の借換資金の延長

➤ホームページ作成費補助【充】

- ・一般枠 補助率 1／2 ・限度額 30万円
- ・創業枠 補助率 2／3 ・限度額 30万円

➤販路拡大支援事業補助【充】

- ・補助率 2／3 ・限度額 30万円



築地場外市場

新 インバウンド需要の増加に係る まちの美化対策支援事業

商店街等がまちの美化対策として実施する
ごみの発生抑制やポイ捨て防止などの取組を
支援

災害に強く安全・安心なまちづくり

共助の取組の強化

充 マンション防災対策の推進

➤ マンション防災体制づくりに向けた包括支援【新】

希望するマンションに対して継続的に防災の専門家を派遣し、防災体制づくりに向けた包括的な支援を新たに実施

➤ マンション防災講習会【充】

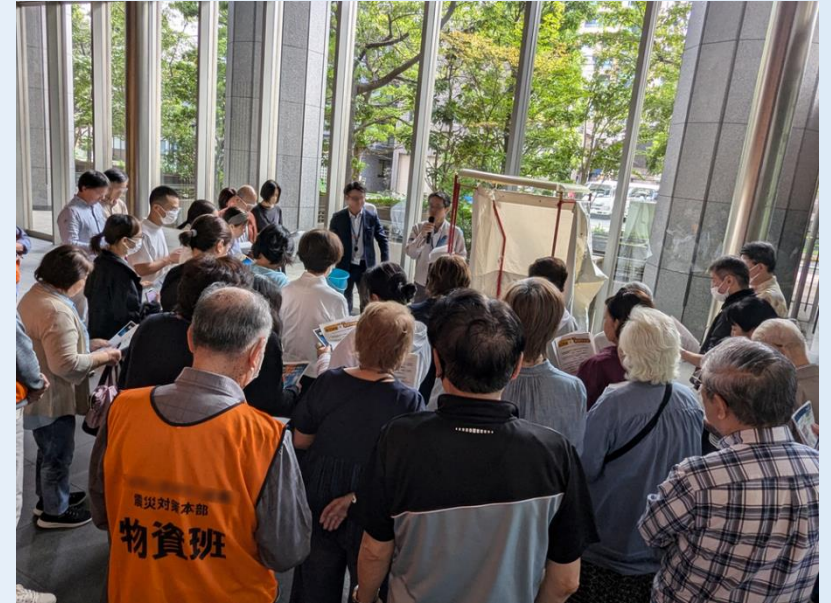
防災対策の取組状況に応じたコース別の講習会を新たに開催

新 地域防災リーダーの育成支援

自主防災組織の活動においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を推進するため、「防災士」の資格取得費用の助成を新たに実施

(対象)

- ・「防災区民組織」または「防災対策優良マンション」の代表者から推薦を受けた方
- ・防災拠点運営委員会の委員長から推薦を受けた方



マンションでの防災訓練

公助の取組の強化

新 密集街区環境改善まちづくり事業および基金の創設

能登半島地震での木造家屋の延焼火災を踏まえ、災害時の延焼火災や倒壊などの危険を最小に抑え、地域の環境改善につなげるため、再建築に困難がある無接道敷地等のうち利用されていない土地を区が買い取り活用するなど、総合的に取り組む新たなまちづくりの手法を構築

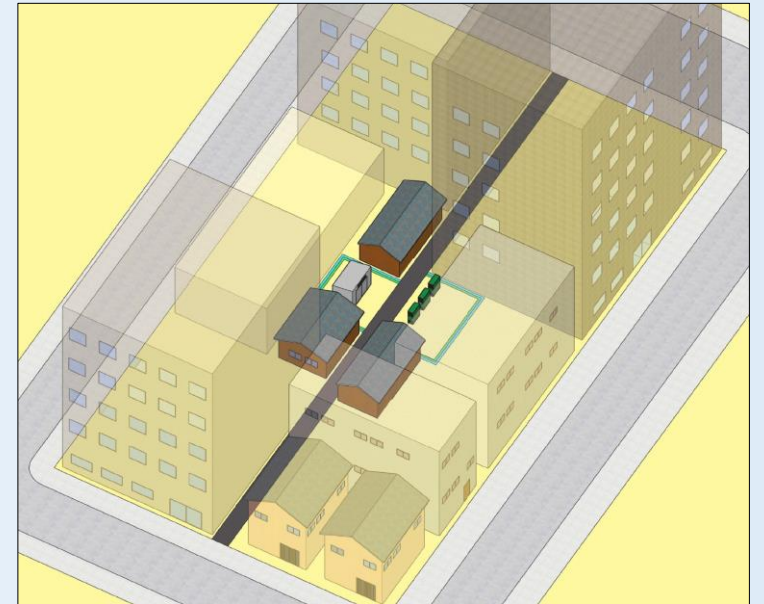
(事業内容)

- ・ 土地の買取
- ・ 申請者の相談・手続きに係る伴走型サポート
- ・ 建物除却の支援

(今後の予定)

令和7年4月 基金の創設、事業周知、相談受付開始

7月 申請受付開始



《地域環境改善のイメージ》

誰もがいきいきと笑顔で暮らせるまち

子育て・教育環境の充実

充 学童クラブ定員の拡大

➤ プレディプラス実施校の拡大

小学校内に学童クラブを設置し、学童クラブと放課後子ども教室（プレディ）を一体的に運用する「プレディプラス」の実施校を拡大

➤ 民設民営の学童クラブの誘致（開設支援）

令和8年4月開設に向け、民間学童クラブを誘致

- ・ 募集地域 日本橋地域または月島地域
- ・ 募集規模 最大3クラブ（概ね120名規模）

充 幼稚園預かり保育実施時間の延長

子育ての支援策をより一層推進するため、区立幼稚園における預かり保育の時間を延長

- ・ 現行 午後4時30分まで
- ・ 令和7年4月～ 午後6時まで



新 すくわくプログラムの実施

園児の非認知能力向上を図るため、「音」や「自然」など各園が設定するテーマに沿った探求活動を試行的に実施

充 出産支援祝品の増額

妊婦の通院における経済的負担の軽減を図るため、出産支援タクシー利用券の金額を増額

- ・ タクシー利用券 1万円 → 1万2千円

高齢者がいきいきと暮らし続けられる環境の充実

新 もの忘れ予防検診事業

認知症の早期診断・対応を促進するため、予防検診を実施するほか、認知症に関する普及啓発を実施

(予防検診)

- ・対象者 65歳、70歳、75歳となる区民
- ・費用 無料

(普及啓発)

- ・検診対象者へ受診票と併せて、認知症の気づきのチェックリストや啓発チラシを送付
- ・認知症に関するパネル展示を実施



充 高齢者医療補助用具購入費用の助成

高齢者の日常生活でのコミュニケーションおよび社会参加の機会確保を推進し、認知症予防につなげるため、補聴器の購入費用に対する助成制度を拡充

		現行	充実後
上限額	住民税非課税	35,000円	<u>72,000円</u>
	住民税課税		35,000円
所得制限		有	<u>無</u>
再交付申請		不可	<u>可(※)</u>

※助成金の交付決定を受けてから5年を経過することが条件



補聴器（耳掛け型）

脱炭素社会の実現・水辺空間を生かした環境整備

地域間連携による取組の推進

充 福島県大熊町との脱炭素を軸とした連携

➤再生可能エネルギー電力の調達【新】

再生可能エネルギーの創出・利用拡大の取組として、大熊町の再生可能エネルギー電力を購入し、区施設で利用

- ・受電施設 区施設（5施設）
- ・受電開始 令和7年4月（予定）



阿武隈風力発電所の風力発電設備

➤住民交流【充】

相互理解を深める機会として、大熊町と連携した交流体験ツアーを実施

- ・実施回数 年2回（1泊2日）
- ・対象者 親子（区内在中の小・中学生、保護者）



震災遺構・請戸小学校



虫取り体験

水辺空間を生かした環境整備

新 水上スポーツ関連施設の整備

都内随一の水辺空間を活用し、ボートやカヌーなどの利用を想定した水上スポーツ関連施設を整備

- ・場 所 晴海三丁目 6 番先
- ・整備施設 非動力船用の船着場など
- ・スケジュール

令和 7 年度 基本設計、実施設計

令和 8 年度 工事

令和 9 年度 開設

(当面の間は、検証利用を予定)

